

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 2 区分
 【発行日】平成 17 年 12 月 22 日 (2005.12.22)

【公表番号】特表 2005-515498 (P2005-515498A)
 【公表日】平成 17 年 5 月 26 日 (2005.5.26)
 【年通号数】公開・登録公報 2005-020
 【出願番号】特願 2003-560641 (P2003-560641)
 【国際特許分類第 7 版】

G 0 2 F 1/139
 G 0 2 B 5/30
 G 0 2 F 1/13
 G 0 2 F 1/1334
 G 0 2 F 1/1337

【 F I 】

G 0 2 F 1/139
 G 0 2 B 5/30
 G 0 2 F 1/13 5 0 5
 G 0 2 F 1/1334
 G 0 2 F 1/1337 5 2 5

【手続補正書】

【提出日】平成 16 年 8 月 2 日 (2004.8.2)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

対向する一対の基板と、

前記一対の基板に挟まれ、選択波長反射可能なコレステリック配列されたプレーナ構造状態とフォーカルコニック透過状態を切り替え可能な、双安定のコレステリック層とを備え、

前記一対の基板の第一の基板には、コレステリック層と直接接触するホメオトロピック配向層が設けられ、

前記一対の基板の第二の基板には、コレステリック層と直接接触するプレーナ配向が設けられている、ことを特徴とする電気光学セル。

【請求項 2】

ディスプレイ装置などの電気光学装置、であって、請求項 1 に記載の電気光学セルを備えることを特徴とする電気光学装置。

【請求項 3】

コレステリック配列された状態に重合されており、偏光された光を選択波長反射して、コレステリック層の操作期間を通じて前記配列された状態を維持することができる高分子コレステリック層であって、

前記高分子コレステリック層は、重合可能なコレステリック層を、偏光された光を選択波長反射可能にコレステリック配列された状態で重合することによって得ることが可能であり、

前記重合可能な層は、重合中に、ホメオトロピック配向層と直接接触する、ことを特徴とする高分子コレステリック層。